

**製品名: CD268 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82037**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	18.9kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD268
別名	TNFRSF13C; BAFFR; CVID4; BAFF-R; BROMIX; prolixin
遺伝子 ID	115650.0
SwissProt ID	Q96RJ3
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD268 (AA: 余分な 1-78) の精製された組み換え断片。

**背景**

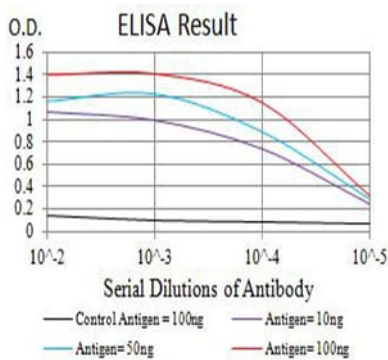
B細胞活性化因子 (BAFF) は、in vitro において B細胞の生存を促進し、末梢 B細胞集団の調節因子です。マウスにおける Baff の過剰発現は、成熟 B細胞の過形成と全身性エリテマトーデス (SLE) の症状を引き起こします。また、一部の SLE 患者では血清中の

BAFF 濃度が上昇しています。そのため、異常に高い BAFF 濃度は、自己反応性 B 細胞の生存を促進することで、自己免疫疾患の発症に寄与している可能性が示唆されています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は BAFF の受容体であり、単一の細胞外システインリッチドメインを含む III 型膜貫通タンパク質です。この受容体は、BAFF を介した成熟 B 細胞の生存に必要な主要な受容体であると考えられています。

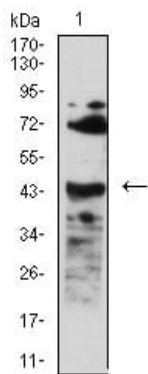
## 研究分野

TGF- $\beta$  シグナル伝達経路

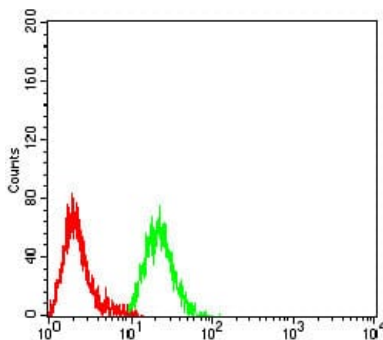
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



C6 (1) 細胞溶解物に対する CD268 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



CD268 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Raji 細胞のフローサイトメトリー分析。